



平成22年11月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年10月8日

上場取引所 東

上場会社名 ユニオンツール

コード番号 6278 URL <http://uniontool.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 片山 貴雄

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役

(氏名) 田口 秀雄

TEL 03-5493-1001

四半期報告書提出予定日 平成22年10月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年11月期第3四半期の連結業績(平成21年12月1日～平成22年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年11月期第3四半期	14,062	22.6	2,089	—	2,263	—	1,520	—
21年11月期第3四半期	11,467	—	△45	—	△118	—	△351	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年11月期第3四半期	68.03	—
21年11月期第3四半期	△15.82	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭
22年11月期第3四半期	51,366	—	48,007	—	93.5	2,147.98
21年11月期	49,422	—	46,934	—	95.0	2,099.96

(参考) 自己資本 22年11月期第3四半期 48,007百万円 21年11月期 46,934百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年11月期	—	15.00	—	15.00	30.00
22年11月期	—	15.00	—	—	—
22年11月期 (予想)	—	—	—	15.00	30.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成22年11月期の連結業績予想(平成21年12月1日～平成22年11月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,831	15.2	2,975	498.1	3,228	710.8	2,099	1,184.2	93.95

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 有

詳細は、【添付資料】P.3「1.当四半期の連結業績等に関する定性的情報」の「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

4. その他（詳細は、【添付資料】P.4「2.その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社（社名 ）、除外 一社（社名 ）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む） 22年11月期3Q 23,098,490株 21年11月期 23,098,490株

② 期末自己株式数 22年11月期3Q 748,270株 21年11月期 748,174株

③ 期中平均株式数（四半期累計） 22年11月期3Q 22,350,243株 21年11月期3Q 22,246,568株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 重要な子会社の異動の概要	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間の世界経済は、設備投資や在庫投資に回復傾向がみられるなど引続き堅調に推移いたしました。しかしながら、全般力強さに欠け、先行き不透明感の高まりも懸念されています。当社グループに関連深い電子機器工業界においては、需要を喚起する新製品の投入が一部にあったものの、全般の盛り上がりにはつながらず、横這いの状況となっております。

このような中、当社グループは、引続き、原価低減の徹底と新製品の投入・拡販に努めており、売上高の回復は物足りないものの、利益率については一定の評価をしているところです。当第3四半期連結累計期間の売上高は14,062百万円（前年同期比22.6%増）となっております。連結営業利益は2,089百万円（前年同期は45百万円の営業損失）、連結経常利益は2,263百万円（前年同期は118百万円の経常損失）、四半期純利益は1,520百万円（前年同期は351百万円の四半期純損失）となっております。

<事業の種類別セグメントの状況>

①切削工具事業

電子機器工業界において、製品ごとに強弱が分かれる状況にありましたが、全般は緩やかな回復基調となっております。このような動きを受け、当社グループ主力のPCBドリル事業では、販売数量が緩やかな右肩上がりとなるなか、高付加価値製品需要に動きが出始めたことで、腰をすえたビジネスが展開できるようになってきております。当社グループは、引続き、新製品の投入・拡販、生産の強化・充実に努め、業績の一層の改善を期していく所存です。その他、エンドミル事業では、金型業界の動きに力強さが感じられず、横這いの状況となっております。

このようなことから、当第3四半期連結累計期間における当事業の売上高は13,082百万円（前年同期比20.4%増）、営業利益は2,159百万円（同587.9%増）となっております。

②その他の事業

直線運動軸受や精密測定機器の主需要先である産業機械分野も回復傾向にありますが、依然として予断を許さない厳しい状況にあります。当事業の売上高は979百万円（前年同期比64.2%増）、営業利益は125百万円（前年同期は355百万円の営業損失）となっております。

<所在地別の状況>

当第3四半期連結会計期間においては、どの地区も緩やかな回復基調にあります。当社グループは、新製品の投入・拡販に取組み、ユーザーとの関係強化を進めております。売上高回復のスピード感に依然物足りなさがあるものの、収益面ではようやく一定の成果がでてきているものと考えております。

日本地区での売上高は7,359百万円（前年同期比45.2%増）、営業利益は1,850百万円（前年同期は375百万円の営業損失）となり、アジア地区での売上高は5,474百万円（前年同期比5.1%増）、営業利益は552百万円（同64.6%増）となっております。北米地区での売上高は775百万円（同1.4%増）、営業利益は62百万円（同55.6%増）となり、欧州地区での売上高は452百万円（同6.4%増）、営業利益は33百万円（前年同期は10百万円の営業損失）となっております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債および純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末に比べ505百万円減少し22,392百万円となりました。これは主に、現金及び預金の1,375百万円の減少と有価証券の1,000百万円の増加によるものであります。

固定資産は、同2,449百万円増加し28,974百万円となっております。これは主に、市況の回復と余資の有効活用を進めたことによる投資有価証券の2,142百万円の増加によります。

このようなことから、当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ1,944百万円増加し51,366百万円となっております。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ871百万円増加し3,359百万円となっております。これは主に、未払法人税等が955百万円増加したことによります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ1,072百万円増加し48,007百万円となっております。これは主に、四半期純利益計上による利益剰余金の850百万円の増加と株式市況の回復による評価・換算差額等の減額幅の222百万円の改善によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ1,307百万円減少し5,991百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは3,823百万円の収入（前年同期は4,707百万円の収入）となっております。これは主に、税金等調整前四半期純利益2,254百万円の計上と減価償却費1,608百万円の計上によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは4,463百万円の支出（前年同期は2,722百万円の支出）となっております。有形固定資産の取得1,947百万円の計上と有価証券の取得3,324百万円の計上が主な内訳であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、主に配当金の支払いにより、644百万円の支出（前年同期は852百万円の支出）となっております。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループを取巻く営業環境は、引続き先行き不透明であります。当第3四半期連結累計期間の実績は、当社の想定に比べ若干ではありますが、売上高未達、利益超過となっております。予想値を算定する際に前提となる為替レートも、今回円高に修正せざるをえない状況（7月開示前提為替レートは1USD=89.69円でしたが、今回83.82円に修正、約7億円の売上高減額修正要因となっております。なお、利益への為替円高の影響はほとんどありませんでした。）になり、また、盛上がりには欠ける景気動向などもあって、このような傾向は第4四半期においても変わらないものと判断いたしましたので、今般、公表予想値を下記のように修正させていただきました。

9ヶ月累計実績で既にみられる通り、新製品の投入効果や原価低減効果が少しずつ定着しつつありますので、今後ともこれらの一層の強化を図り、業績の向上に努めてまいります。

平成22年11月期通期連結業績予想値の修正（平成21年12月1日から平成22年11月30日まで）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想値 (A)	20,102	2,765	3,031	1,962	87.81
今回発表予想値 (B)	18,831	2,975	3,228	2,099	93.95
増 減 額 (B-A)	△1,270	210	197	137	-
増 減 率 (%)	△6.3	7.6	6.5	7.0	-
(ご参考) 前期実績 (平成21年11月期)	16,352	497	398	163	7.32

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

たな卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、第2四半期連結会計期間末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。また、たな卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行なう方法によっております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

(四半期連結損益計算書の表示方法の変更)

前第3四半期連結累計期間において、営業外費用の「その他」に含めていた「売上割引」は、営業外費用の総額の100分の20を超えたため、当第3四半期連結累計期間より区分掲記しております。

なお、前第3四半期連結累計期間の営業外費用の「その他」に含まれる「売上割引」は、11,749千円であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年8月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,679,458	6,054,500
受取手形及び売掛金	6,174,253	6,470,428
有価証券	4,371,839	3,371,491
商品及び製品	3,718,797	3,780,253
仕掛品	942,112	747,272
原材料及び貯蔵品	1,776,684	2,141,410
その他	750,800	368,597
貸倒引当金	△21,944	△36,573
流動資産合計	22,392,002	22,897,380
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,890,547	3,923,046
機械装置及び運搬具(純額)	8,040,766	8,681,024
工具、器具及び備品(純額)	218,792	265,247
土地	6,298,919	6,154,350
建設仮勘定	1,036,118	105,229
有形固定資産合計	19,485,144	19,128,899
無形固定資産	81,492	71,095
投資その他の資産		
投資有価証券	8,715,522	6,572,701
繰延税金資産	104,661	463,813
その他	588,061	288,399
投資その他の資産合計	9,408,245	7,324,913
固定資産合計	28,974,881	26,524,908
資産合計	51,366,883	49,422,288

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年8月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年11月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	745,232	790,981
未払費用	510,126	530,213
未払法人税等	1,010,006	54,707
賞与引当金	542,239	161,732
その他	206,700	602,241
流動負債合計	3,014,305	2,139,876
固定負債		
長期未払金	256,788	256,788
その他	87,963	90,790
固定負債合計	344,751	347,578
負債合計	3,359,056	2,487,454
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,998,505	2,998,505
資本剰余金	3,037,338	3,037,349
利益剰余金	46,812,120	45,961,739
自己株式	△2,452,594	△2,452,357
株主資本合計	50,395,370	49,545,235
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	617,116	84,204
為替換算調整勘定	△3,004,659	△2,694,606
評価・換算差額等合計	△2,387,543	△2,610,402
純資産合計	48,007,827	46,934,833
負債純資産合計	51,366,883	49,422,288

(2) 四半期連結損益計算書
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年12月1日 至平成21年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年12月1日 至平成22年8月31日)
売上高	11,467,030	14,062,501
売上原価	8,621,958	9,271,348
売上総利益	2,845,071	4,791,153
販売費及び一般管理費	2,890,129	2,701,686
営業利益又は営業損失(△)	△45,058	2,089,467
営業外収益		
受取利息	52,699	47,081
受取配当金	72,635	48,674
助成金収入	74,678	—
為替差益	—	10,900
その他	85,174	103,415
営業外収益合計	285,186	210,072
営業外費用		
売上割引	—	25,671
為替差損	280,840	—
貸倒引当金繰入額	44,263	—
その他	33,075	9,916
営業外費用合計	358,179	35,587
経常利益又は経常損失(△)	△118,051	2,263,951
特別利益		
貸倒引当金戻入額	3,993	21,737
固定資産売却益	2,659	—
投資有価証券売却益	16,799	—
補助金収入	83,390	—
特別利益合計	106,842	21,737
特別損失		
固定資産除売却損	14,246	31,161
投資有価証券評価損	62,195	—
特別損失合計	76,442	31,161
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△87,651	2,254,528
法人税、住民税及び事業税	56,514	1,072,852
法人税等調整額	207,702	△338,703
法人税等合計	264,216	734,148
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△351,868	1,520,379

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年12月1日 至平成21年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年12月1日 至平成22年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△87,651	2,254,528
減価償却費	1,831,279	1,608,275
賞与引当金の増減額(△は減少)	167,017	380,887
受取利息及び受取配当金	△125,334	△95,756
支払利息	1,859	339
投資有価証券評価損益(△は益)	62,195	—
為替差損益(△は益)	50,563	△79,314
固定資産除売却損益(△は益)	11,587	31,161
売上債権の増減額(△は増加)	2,459,447	272,609
たな卸資産の増減額(△は増加)	1,656,682	6,807
仕入債務の増減額(△は減少)	△2,455	△3,650
未払消費税等の増減額(△は減少)	11,440	△9,968
その他	△541,923	△508,857
小計	5,494,709	3,857,061
利息及び配当金の受取額	126,094	96,064
利息の支払額	△1,859	△339
法人税等の支払額	△911,211	△129,304
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,707,732	3,823,482
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の売却及び償還による収入	1,456,165	2,656,880
有形固定資産の取得による支出	△1,187,538	△1,947,047
有価証券の取得による支出	△1,536,946	△3,324,068
投資有価証券の取得による支出	△1,292,414	△1,873,971
その他	△161,745	24,286
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,722,479	△4,463,920
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△852,723	△643,858
その他	589	△246
財務活動によるキャッシュ・フロー	△852,134	△644,105
現金及び現金同等物に係る換算差額	△217,402	△23,289
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	915,715	△1,307,833
現金及び現金同等物の期首残高	5,542,358	7,299,653
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,458,073	5,991,820

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成20年12月1日 至 平成21年8月31日)

	切削工具事業 (千円)	その他の事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	10,870,371	596,658	11,467,030	—	11,467,030
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	414,715	414,715	(414,715)	—
計	10,870,371	1,011,374	11,881,745	(414,715)	11,467,030
営業利益又は営業損失(△)	313,940	△355,890	△41,950	(3,108)	△45,058

(注) 1 事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2 各事業区分の主要製品

事業区分	主要製品
切削工具事業	PCBドリル(プリント配線板用超硬ドリル)、その他
その他の事業	直線運動軸受、専用機、測定器、その他

3 たな卸資産については、第1四半期連結会計期間より、主として総平均法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)により算定しております。これにより、従来の方法によった場合に比べて、切削工具事業で営業利益が152,601千円減少し、その他の事業で営業損失が21,568千円増加しております。

4 第1四半期連結会計期間より有形固定資産の耐用年数を見直しております。これによる、当第3四半期連結累計期間の営業損益に与える影響は軽微であります。

当第3四半期連結累計期間(自 平成21年12月1日 至 平成22年8月31日)

	切削工具事業 (千円)	その他の事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	13,082,567	979,934	14,062,501	—	14,062,501
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	633,551	633,551	(633,551)	—
計	13,082,567	1,613,486	14,696,053	(633,551)	14,062,501
営業利益	2,159,670	125,884	2,285,555	(196,088)	2,089,467

(注) 1 事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2 各事業区分の主要製品

事業区分	主要製品
切削工具事業	PCBドリル(プリント配線板用超硬ドリル)、その他
その他の事業	直線運動軸受、専用機、測定器、その他

【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成20年12月1日 至 平成21年8月31日)

	日本 (千円)	北米 (千円)	アジア (千円)	欧州 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	5,067,681	764,384	5,209,529	425,434	11,467,030	—	11,467,030
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,875,263	544	148,618	48	3,024,473	(3,024,473)	—
計	7,942,944	764,928	5,358,147	425,482	14,491,503	(3,024,473)	11,467,030
営業利益又は営業損失(△)	△375,135	39,851	335,496	△10,667	△10,455	(34,603)	△45,058

(注) 1 国または地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国または地域

(1) 北米・・・アメリカ

(2) アジア・・・台湾、中国、シンガポール

(3) 欧州・・・スイス

3 たな卸資産については、第1四半期連結会計期間より、主として総平均法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)により算定しております。これにより、従来の方法によった場合に比べて、日本地区で営業損失が105,991千円増加し、アジア地区で営業利益が68,179千円減少しております。

4 第1四半期連結会計期間より有形固定資産の耐用年数を見直しております。これによる、当第3四半期連結累計期間の営業損失に与える影響は軽微であります。

当第3四半期連結累計期間(自 平成21年12月1日 至 平成22年8月31日)

	日本 (千円)	北米 (千円)	アジア (千円)	欧州 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	7,359,614	775,415	5,474,852	452,619	14,062,501	—	14,062,501
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,462,824	659	234,769	19	3,698,274	(3,698,274)	—
計	10,822,439	776,075	5,709,622	452,638	17,760,775	(3,698,274)	14,062,501
営業利益	1,850,254	62,019	552,387	33,382	2,498,043	(408,576)	2,089,467

(注) 1 国または地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国または地域

(1) 北米・・・アメリカ

(2) アジア・・・台湾、中国、シンガポール

(3) 欧州・・・スイス

【海外売上高】

前第3四半期連結累計期間(自 平成20年12月1日 至 平成21年8月31日)

	北米	アジア	欧州	その他の地域	計
I 海外売上高(千円)	741,040	5,882,692	413,309	13,551	7,050,594
II 連結売上高(千円)					11,467,030
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	6.5	51.3	3.6	0.1	61.5

当第3四半期連結累計期間(自 平成21年12月1日 至 平成22年8月31日)

	北米	アジア	欧州	その他の地域	計
I 海外売上高(千円)	734,666	6,125,158	495,372	29,027	7,384,225
II 連結売上高(千円)					14,062,501
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	5.2	43.6	3.5	0.2	52.5

(注) 1 国または地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国または地域

(1) 北米・・・アメリカ、カナダ

(2) アジア・・・韓国、中国、台湾、シンガポール

(3) 欧州・・・スイス、イタリア、イギリス、フランス

3 海外売上高は、当社および連結子会社の本邦以外の国または地域における売上高であります。

(6)株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。